



連雀通り商店会の七夕まつり

給付」が創設される。子育て環境のニーズ調査と本市における小規模保育の今後の取り組みについて伺う。

市長 2年後に本格施行される予定の子ども・子育て支援新制度に向け事業計画を策定するためのニーズ調査を検討している。また、小規模保育施設の設置は、地域の保育ニーズに細かく対応できる有効な方策と考える。おり地域型保育給付の活用を積極的に検討したい。

議員 昨年度、本市は市内の空き家調査を実施している。空き家・空き店舗などを活用した小規模保育の実施の可能性について伺う。

市長 遊休施設の保育施設への転用の可能性も検討すべきと考えるが、耐震基準など施設の安全性の確保が第一であると認識する。

地域防災計画の更なる深化を求める



公明党 緒方 一郎 議員

議員 今年3月に改定した地域防災計画の特徴点等を改定前との比較で伺う。

市長 新たに三鷹市の減災目標を設定し、保護者の帰宅困難を想定した学校や保育園などの対策、放射性物質対策、被災地の支援対策及び受援対策等を盛り込んだ。自治体間の広域連携、がれきの集積場所の確保等については、引き続き検討課題として調査研究する。

議員 首都直下地震等が発生した際の三鷹市の被害想定について伺う。

市長 最も被害が大きいとされる多摩直下を震源とする地震では、市内の一部で震度6強、死者59名、負傷者1千288名、建物全壊84棟、焼失84棟などと想定されている。

議員 東日本大震災でも課題となった輸送燃料の確保や、燃料提供協定締結等について検討状況を伺う。

は重要であるため、マンション管理組合等を対象としたセミナーや防災出前講座

若者に活力を与える 三鷹独自の若者支援の拡充を



民主党 岩見 大二 議員

議員 近年、若年層を取り巻く環境は、厳しさを増している。若者に活力を与えるような本市独自の幅広い若者支援策が必要だ。今後の支援のあり方を伺う。

市長 国や都が実施する支援策などと連携を取りながら、めりはりのある施策を検討していきたい。

議員 正規雇用が減って非正規雇用の割合が増えている状況を鑑み、より良質な雇用の創出が求められている。関連機関との連携も含めた今後の対策を伺う。

市長 本市では、以前よりハローワーク三鷹と連携したセミナー等の実施、東京労働局や商工会等との情報交換を行ってきた。引き続き関係機関と連携し、きめ細かな対応をしていく。

議員 中長期的な非正規雇用労働者の能力開発は、企業だけに頼らずに、社会全体で取り組むべきだ。

市長 企業や業界団体、自治体等の公的部門も含めて

地域の防災力向上で 災害時の混乱に備えよ



民主党 石原 恒 議員

議員 大きな揺れによるブロック塀や家具の転倒、火災による被害が想定される。体重の約4倍の荷重で

倒防止の啓発が重要だ。

総務部長 危険と思われる扉は、所有者に補修等をお願いしているほか、大きな揺れを感じた場合には、まずは扉から離れるなどの安全対策の啓発も行っている。

議員 小学校の各児童が用意している防災頭巾では、地震のときに有効とは思えないとの声がある。小学校における防災ヘルメットの備えについて伺う。

教育長 より防護力が高いが、保管場所や費用負担の課題、中学校への対応等を含め、よく検討したい。

議員 首都直下地震では、ほとんどの公共交通機関が止まると想定される。外出中の人々が居住地に向けて一斉に徒歩帰宅を開始すると、負傷や混乱などの様々な危険に遭遇する。帰宅困難者対策訓練が必要だ。

議員 昨年12月の一般質問に引き続き、障がい者就労支援について伺う。職場定着に向けた生活面・職場の同僚への啓発等を含めた支

働き続けられるための 障がい者就労支援の充実を



民主党 長島 薫 議員

援の取り組みを伺う。

市長 障がい者就労支援センターかけはしで、本人や家族に対する直接面談や電話、メール相談と、事業者に対する職場訪問での就労状況の確認や職場の障がい者理解の普及を行い、課題がある時は関係機関と連携し解決を図る。生活面等の課題は、相談支援事業所等と連携する。

議員 障がい者就労の賃金が低い問題について所見と対応策を伺う。

市長 所得保障に関する相談には丁寧に対応し、在宅

で収入を得る機会を広げるIT講習等に力を入れている。また、三鷹市では障がい者支援機関の経営等に、できる限り障がいのある当事者が参画し、ピアサポートの形で支援の輪を広げる取り組みを行っている。

議員 支援相談業務が増加し、現場は人手不足と聞く。対応と必要に応じた人員加配計画について伺う。

健康福祉部調整担当部長 現在は人員加配の予定はない。業務の効率化を図りつつ、必要なケースに手厚く支援できる効果的な方法を、かけはしと協議する。

議員 平成24年度の都の調査によると、ソフトボール投げでは市内小学校の全ての学年が全国平均を下回っている。ボール投げのできる場所がないことが原因の一つだ。公園の使用制限の見直しについて伺う。

キャッチボールさえできない 公園の使用制限見直しを



みんなの党 吉沼 徳人 議員

議員 生徒が更に運動の機会を多く持つよう、運動場所を確保していきたい。

議員 スポーツ祭東京2013の中でソフトボールが行われる。そこで興味を持った児童・生徒がせめてキャッチボールをできるように公園を開放できないか。

教育長 運動をしようという意識付けが重要で観戦はよい機会だ。運動能力や体力の向上につながるような取り組みをしていきたい。

議員 児童・生徒の体力向上のための運動場所の確保について所見を伺う。

教育部長 放課後・休日の校庭や市内各所にあるスポーツ施設に加え、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)などの運動施設のネットワークを活用し、児童・

三鷹市議会では、インターネットによる本会議の生中継と録画中継の配信を行っています。一般質問の様子は市議会ホームページ(1面題字下参照)でご覧いただけます。